

BUDŌ

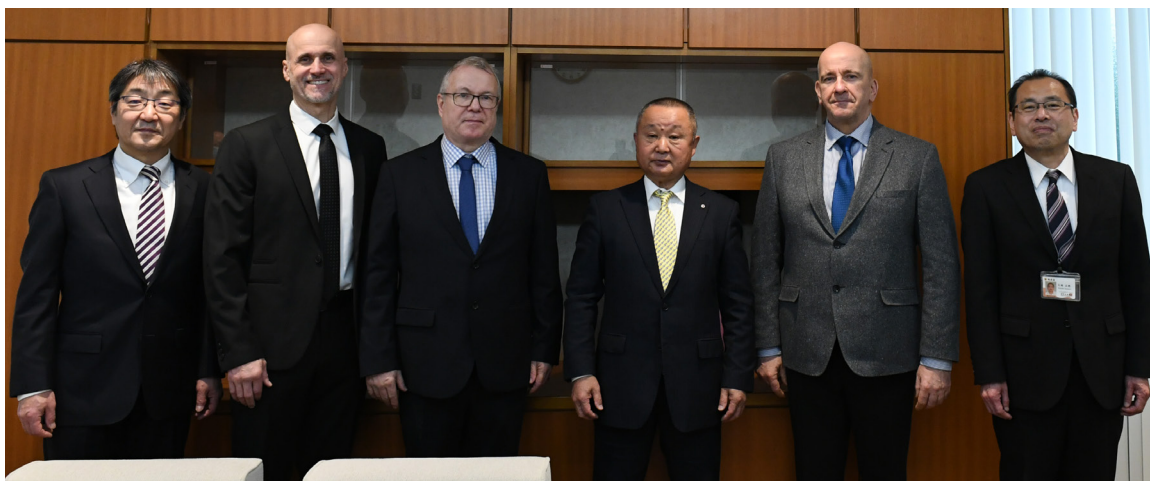
NEWS

今月のニュース

令和6年度全国都道府県立武道館協議会 事務担当者会議を開催



ハンガリー体育大学視察員が日本武道館を表敬訪問



第48回日本古武道演武大会

連綿と受け継がれる古の武道



第48回 日本古武道演武大会



内田康介
日本古武道協会
理事・事務局長



吉川英夫
日本武道館
常任理事・事務局長



川端達夫
日本武道館理事長
日本古武道協会理事長



高村正彦
日本武道館会長
日本古武道協会会長



令和6年度古武道有功者表彰
(左から) 井上弘道氏、高村正彦会長、岩永源三郎氏



多くの古武道愛好家が来場した

第48回日本古武道演武大会（主催

Ⅱ 日本武道館、日本古武道協会）

が、2月2日に日本武道館で開催された。古武道35流派・約250名が集結し、約1800名の観客の前で演武を披露した。大会では古武道愛好家たちが各流派の演武に熱視線を送り大盛況となった。



午前10時30分から開会式が行われた。吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長の挨拶から始まり、続いて国歌斉唱の後、高村正彦日本武道館会長・日本古武道協会会長が挨拶。

「皆様方が、全国各地でそれぞれの流派の保存・継承・発展のために日夜ご努力されていることに、心から感謝申し上げます。令和の時代は、古武道がますます日本の誇るべき伝統文化として広く国民に注目され、評価され、尊敬される時代になりたいと考えております」と述べた。続いて川端達夫日本武道館理事長・日本古武道協会理事長が「古武道の技と心を遺憾なく発揮され、会場におけるの皆様、大会の映像を通して日本はもとより世界に、古武道の真髄をご堪能していただけることと期待し

ております」と述べた。

開会式終了後は古武道有功者表彰に移り、心月無想柳流柔術宗家二世岩永源三郎氏と、雲弘流剣術第九代宗家井上弘道氏が受章した。

演武は2部制で行われ、一部は小笠原流弓馬術の演武を皮切りに、古武道有功者受章の雲弘流剣術へと続いた。雲弘流剣術では洗練された技の数々が披露され、演武終了後に井上宗家は「古武道有功者表彰をいただいたので『これが日本の古武道だ』という気持ちで臨みました」と述べた。

二部は古武道有功者受章の心月無想柳流柔術の演武から始まった。演武では素手の相手に対する動きのほか、太刀などの武器を持った相手に対する術も披露し、観客の目を引いた。演武終了後の岩永源三郎宗家は「少し力みがでしたが、これまで積み上げてきたものを表現したい」と述べた。この日最後の演武は陽流砲術。心地良い静寂の中、大迫力の発射音が会場で響き渡り、観客席からはざわめきが起った。派手やかな演武で景気良く大会を締め括った。



⑪小笠原流弓馬術



④竹内流柔術 目下捕手開山



③宝蔵院流高田派槍術



⑩神道夢想流杖術



⑭直心影流薙刀術



⑫澁川流柔術



⑬卜傳流剣術



⑨立身流兵法



②雲弘流剣術



⑥貫心流居合術



②③大東流合気柔術琢磨会



⑦琉球古武術



①⑦尾張貫流槍術



⑪無雙直傳英信流居合術



③① 柳生心眼流體術



①⑨ 鹿島新當流剣術



②⑤ 當田流剣術



②⑨ 長谷川流和術



①③ 初實剣理方一流剣術



②⑥ 和道流柔術拳法



②④ 天道流薙刀術



②⑨水鷗流居合剣法・正木流鎮鎌術



②⑩関口流抜刀術



②⑪金硬流唐手・沖縄古武術



②⑮鐘捲流抜刀術



⑧為我流派勝新流柔術



②②兵法タイ捨流



②⑦甲源一刀流剣術



③⑤陽流砲術



⑤野田派三天一流剣術



③④天神真楊流柔術



③⑩神道無念流剣術



③②戸田派武甲流薙刀術



今大会では新たに音声ガイドを導入した。観客は自身のスマートフォンから専用ページにアクセスし、解説を聞きながら、より古武道への理解を深めた。

各流派の解説を音声で発信



③③小野派一刀流剣術

出場流派・演武者一覧（演武順）

①小笠原流弓馬術

小笠原清基、鎌形佐知夫、吉田昌伸、佐藤昌二、飯島陽一、玉川智、吉田亜未、星野真理子、鎌形雅子、宇田川照子

②雲弘流剣術

井上弘道、井上照貴

③宝蔵院流高田派槍術

駒喜多学、尾野好司、若林幹雄、土屋明洋、高橋英樹、西本昌永、加藤了嗣、田口昌昭、富山忠和、西堀清作

④竹内流柔術日下捕手開山

竹内藤一郎、竹内久朋、氏房功、八木隆志

⑤野田派二天一流剣術

荒木章博、松永李勝、勝田兼充、勝田晴美

⑥貫心流居合術

松本秀邦、石田隆、守山健三、重吉伸一、渡邊孝敏、上田峻平、安食敬太

⑦琉球古武術

井上貴勝、岡林俊雄、増渕淳一、高橋淳也、梅田寛、小口卓

⑧為我流派勝新流柔術

根本憲一、谷啓二、村木浩治、沢幡伸男、加瀬大輔、小國英智

⑨立身流兵法

加藤紘、加藤敦、斎藤勝、菅家啓一、江尻裕介、山崎恒弥、渡辺紳一、石毛勝也、桑原実、梅谷咲太郎、大畑

⑩神道夢想流杖術

神代孝一、福田博文、坂上亨、藤井喜代子、高嶋憲一郎、高嶋由紀、大島谷仁、渡邊ロマン

⑪無雙直傳英信流居合術

関口高明、中野園子、金景煥、関口高一、関口心明、ブランドンパーケット、エベレットリ、テリレン、デイエゴボネッタ、チャドビアーズ、ロバートマクダオル、ホセオリッキ

⑫澁川流柔術

吉野明嗣、村井道由、東英章、ストーン・リチャード、南谷洋行

⑬初實剣理方一流剣術

植月求、植月重幸、正木英登

⑭直心影流薙刀術

関根恵児、福岡輝美、栗原久子、資延妙子、横山公仁子、大洲啓子、大林栄子、菅野佳子、松下てつ子、小林典子、菅野幸子、杉本恵子、島田典子

⑮鐘捲流抜刀術

橋原弘之、柚木一男、俣野勝美、河野広司、島田和行

⑯傳流剣術

小山秀弘、小山隆秀、小山花恵、小山秀晃

⑰尾張貫流槍術

下村幸裕、神戸信夫、下村直樹、森治紀、神原会弥、赤羽根大介、若尾

勇気、前田稠、本橋浩介

⑱心月無想柳流柔術

岩永源三郎、桑波田秀祐、NoahGreenstone、奥村宗一郎、仲尾昭一、Mave Vello、James Hill、Briden Wicks、Zachary Hardisty、Hannah Walsten

⑲鹿島新當流剣術

岡見安宏、横尾廣美、今井淳也、小松崎政史、保立航、浜本源太

⑳関口流抜刀術

松岡秀樹、麻野和巳、中山洋一、林憲一、大西秀雄、上原征二、平川拓洋、山内隆明、本山亮、米谷明、米谷香織、原裕二

㉑金硬流唐手・沖繩古武術

早坂義文、大村朝洋、早坂ゆかり、江幡妙子、佐々木透、植松哲司

㉒兵法タイ捨流

上原エリ子、山本隆博、田添信一郎、井上義一、田中英樹、Alex Allera、Giulica Polignano、Daniel Trauner

㉓大東流合気柔術琢磨会

小林明彦、高梨智子、福本隆至、乗竹宏明、MeemsAlex、石濱嗣敏

㉔天道流薙刀術

木村恭子、田室美知子、浦部育子、小野由紀子、廣瀬幸子、玉置捷子、野崎恵美、中段亜由美、酒井美幸、近藤圭恵、木村有里、清水真由美、角薫、木村充

㉕當田流剣術

神亮太、齊藤混樹

㉖和道流柔術拳法

大塚博紀、寺田英視、坂巻明、押田良光、三田篤、ロヒヤファンデルフェルデ

㉗甲源一刀流剣術

坂本旭、坂本浩文、逸見義清

㉘長谷川流和術

桑原巡、倉田勝己、逸見彰一、石原賢一、小野晴佳

㉙水鷗流居合剣法・正木流鎖鎌術

勝瀬文孝、青木秀澄、後藤清隆、カントリー・アントニー、池田育生、山本亮

㉚神道無念流剣術

小川武、萩崎昭、齊藤政文、中舘秀光、落合毅、土屋正則、相馬功一、城崎健太郎、玉根純也、浅野史明、中野雅浩、山谷怜子、掛川成彦、神明新太郎、吉田明永、中村唯

㉛柳生心眼流體術

梶塚靖司、寺久保敦也、高橋慶太、谷野文弥、吉岡一紀、藤澤勝也、沢田滋野、ハーバー出入、谷田悠介

㉜戸田派武甲流薙刀術

建入久代、永埜浩司、本多日向子、小野貴史

㉝小野派一刀流剣術

矢吹裕二、石崎徹、浅井雅史、庄嶋卓司

㉞天神真楊流柔術

坂本忠彦、渡邊卓也、岩倉淳、小澤修一、柴田裕一郎

㉟陽流砲術

尾上城由江、渡辺利秀、藤川繁昌

㊱以上35流派、敬称略

全国の武道館事務担当者が情報交換

令和6年度全国都道府県立武道館協議会事務担当者会議



全体会①で永嶋信哉日本武道館振興部長兼普及課長（左手前）の説明を聞く参加者



開会挨拶を述べる吉川英夫
日本武道館常任理事・事務局長

令和6年度全国都道府県立武道館協議会事務担当者会議が1月27・28日、日本武道館中道場棟で開催された。同協議会に加盟する全国の都道府県立武道館から36館、40名の事務担当者が集まり、意見・情報交換を行った。

■1日目（1月27日）

初めに、吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長が開会挨拶を述べ、次に事務局から出席者全員の紹介が行われた。

会議では、初めに全体会①として、永嶋信哉日本武道館振興部長兼普及課長が、日本武道館および全国都道府県立武道館協議会（以下、全武協）の歴史および事業の概要を説明した。日本武道館と各加盟館の共催事業である「地域社会武道指導者

研修会・地方青少年武道錬成大会」（以下、共催事業）の説明では、事業の成り立ちと沿革を述べたのち、全国100カ所以上で行われている共催事業全てが国庫補助対象事業であることを強調した。

次に全体会②では、根本和彦日本武道館総務部副参事兼会計課長が、共催事業の経費処理について説明を行った。次年度からの経費処理の変更点について、事前に行ったアンケート結果をもとに実務に沿った説明がなされた。手順の説明では、共催事業の実務を担当する参加者から多くの質問が投げかけられ、活発な情報交換が行われた。

全体会終了後に休憩を挟み、参加者主体で行われる分科会に移った。参加者は13、14名の3班に分かれ、司会は全武協の事務を担当する日本武道館普及課職員が務めた。1日目は「共催事業の申請種目の選定方法」について議論を行った。各加盟館での選定方法について報告し、実務での問題点などの情報共有を行った。

分科会終了後、日本武道館の施設見学を行った。普及課職員が案内し、大道場、増改築された中道場、

武道教室を行っている小道場、畳が収納されている倉庫、搬出入用リフターなどを見学した。質問には施設・設備を管理する施設課の職員が答えた。参加者は職員の説明に熱心に聞き入り、質問をしたり設備の写真撮影をしたりしながら館内を見学した。

■2日目（1月28日）

分科会からスタートし、1日目と同様の班に分かれて会議が行われた。2日目は主に以下の内容について意見交換が行われた。

「収入確保のために行っている事業について」

「武道教室の講師の選定方法について」

「共催事業についての疑問点・質問」

各加盟館の事務担当者として日々実務にあたっている参加者は、現場の実情を共有し合い、改善点などを話し合った。

分科会終了後は全体会を開き、分科会報告が行われた。各分科会から選ばれた代表者が1名ずつ報告を行い、それぞれの分科会で行われた話し合いの内容を共有した。

（分科会報告の概要は次ページ）

●全国都道府県立武道館協議会 と同事務担当者会議の概要

全国都道府県立武道館協議会は、全国各地に点在する都道府県立武道館が施設の運営や事業について意思の疎通を図るとともに、十分な協力体制を取れるよう昭和54（1979）年に設立された協議会（設立時は「全国公立武道館協議会」。昭和56（1981）年に改組して現名称へ改称）。

事務担当者会議は、全武協事業の円滑な実施や加盟館の管理運営の向上に繋（つな）がていくことを目的に、各館の窓口となる事務担当者が意見を交換する場として、3年に1回開催されている。



全体会② 共催事業の経費処理についての説明。根本和彦日本武道館総務部副参事兼会計課長（左奥）が事業の精算方法の変更点について説明を行った



分科会では、活発な意見交換がなされた



日本武道館の施設見学の様子①。
大道場の見学をする参加者



日本武道館の施設見学の様子②。
中道場の床材やコーティング方法を興味深く見学する

分科会報告（概要）



分科会

●A班（北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・千葉・東京・神奈川・横浜・福井・長野）

共催事業の種目選定については、各武道連盟に希望調査を実施して選定している加盟館がほとんどであったが、武道連盟9種目のローテーションを組み、順番に全武道種目の事業を行っている館もあり、取り組みの実施例などが報告された。

収入の確保については、多くの加盟館で施設稼働率の向上が課題となっており、道場の空きコマを武道以外の団体利用に貸し出し活用するさまざまな方法が挙げられた。バスケットボールなどのスポーツ団体への貸出や、ヨガや書道などの体験教室の実施などが報告された。

各武道館で実施している武道教室の講師選定方法は、いずれも各県の連盟が推薦した指導者に依頼する形式が多く、講師の高齢化が進んでいる現状が報告された。

●B班（茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・横浜・山梨・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・兵庫・和歌山）

共催事業の種目選定については、地域内での活動が活発ではない武道団体があり、各市町村団体まで希望調査を取りまとめることが難しい状況が報告された。また、一部の地域のブロックにおいて、競技人口が少ない種目は近県からの愛好者も募つ

●参加者一覧（敬称略）

都道府県	加盟館	出席者	都道府県	加盟館	出席者
北海道	北海道立総合体育センター	河津 祐二	岐阜県	岐阜メモリアルセンター	水谷 智廣
青森県	青森県武道館	櫻庭 知基	静岡県	静岡県武道館	浦山 康博
岩手県	岩手県営武道館	千葉 秀樹	愛知県	愛知県武道館	金田 朋久
宮城県	宮城県第二総合運動場	岩川 哲平	三重県	三重武道館	佐藤 昭人
秋田県	秋田県立武道館	加藤 功一	滋賀県	滋賀県立体育館・武道館管理センター	岩崎 貴文
山形県	山形県武道館	菅原 進	兵庫県	兵庫県立武道館	水嶋 義広
福島県	福島県営あづま総合体育館	尾形 省二	和歌山県	和歌山県立武道館	米倉 敬視
茨城県	東日本技術研究所武道館	平澤 誉志幸	鳥取県	鳥取県立武道館	重高 邦正
埼玉県	埼玉県立武道館	松澤 和男	島根県	島根県立武道館	飯塚 佑
千葉県	千葉県総合スポーツセンター武道館	栗田 勝次	岡山県	岡山武道館	平田 龍太郎
〃	〃	藤本 幸璽	徳島県	徳島県立中央武道館	小島 桂太
東京都	東京武道館	石崎 正弘	香川県	香川県立武道館	山脇 世依
〃	〃	河野 里織	愛媛県	愛媛県武道館	越智 陽介
神奈川県	シンコースポーツ神奈川県立武道館	池邊 曜	高知県	高知県立武道館	岡村 千秋
〃	〃	村山 恵祐	福岡県	福岡県立スポーツ科学情報センター	柿本 達郎
〃	横浜武道館	大山 圭子	長崎県	長崎県立武道館	川尻 小奈江
〃	〃	田村 晋	熊本県	熊本武道館	白石 祐太
山梨県	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	小林 裕弥	宮崎県	ひなた武道館（宮崎県武道館）	中馬 望
福井県	福井県立武道館	宮本 公裕	鹿児島県	鹿児島県総合体育センター	宮久保 美鈴
長野県	長野県立武道館	内田 賢悟	沖縄県	沖縄県立武道館	徳嶺 亜矢乃



武道の礼法

小笠原 清忠 (弓馬術礼法小笠原教場) 著

相手に誠心が響く礼法を小笠原流礼法宗家が直々に指南する、武道関係者必読の一書。



四六判・上製278頁
定価2,640円

◎ ご注文・お問い合わせ ◎

(公財) 日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



分科会C班代表者
飯塚佑氏 (島根県)



分科会B班代表者
小林裕弥氏 (山梨県)



分科会A班代表者
宮本公裕氏 (福井県)

て事業を実施し、開催地はブロック内で持ち回りで行う方法が共有された。

専門的な設備が必要な種目(弓道、相撲など)の事業実施について、武道館内に専用の設備がなく、事業開催の希望があっても実施できないことがあったが、新たに会場使用料が運営経費に追加されたことで外部施設の利用が可能になり、事業実施に繋がれるという展望が述べられた。しかし、現状は加盟館を会場とした事業実施が原則となっているため、規則の変更を希望する意見があった。

武道教室の講師の定年について

は、いずれの県も定年退職制度は設けていないことが報告された。参加者についても、年齢の上限を設けているところはなく、代わりに80歳以上の方が参加する場合に家族の同意を得るという対策をとっている団体の実施例が報告された。

◎C班(鳥取・島根・岡山・徳島・

香川・愛媛・高知・福岡・
長崎・熊本・宮崎・鹿児島・
沖縄)

武道館施設の稼働率を上げる取り組みについて、沖縄県立武道館では会議室をデイスコダンスの教室に貸し出したり、岡山武道館ではバレー

ボール、バスケットボール、サッカーのフットリーグの試合会場として使用してもらっているなど、武道館の堅いイメージを取り払い、多くの人が訪れやすくする取り組みを実施していることが報告された。その一方で、武道場は床に特徴があることから、武道種目以外に使用してもらう際はルールを考えなくてはいけないという課題についても言及された。

武道教室講師の定年制度については、多くの加盟館が高齢の講師に退任を申し出しにくく、若手指導者への世代交代が上手に進まないという現状が報告された。

ハンガリー体育大学の 視察員が日本武道館を訪問

ハンガリー国内での武道普及を目指して意見交換

2月2日、開学100年を迎えたハンガリー唯一の体育大学であるハンガリー体育・スポーツ科学大学（以下、ハンガリー体育大学）の視察員4名が日本武道館を表敬訪問し、同国の武道教育等の報告、意見交換等を行い、同日に日本武道館で開催された第48回日本古武道演武大会を見学した。

今回の表敬訪問はハンガリーでのさらなる武道の普及を目指すため、同大学が計画した「武道センタープロジェクト」の一環によるものであり、2022年オンラインで行われた「日本とハンガリーを結ぶ武道文化交流事業」のコーディネートを務めた阿部哲史氏がきっかけとなり実現した。



吉川常任理事・事務局長（右）は視察員らと握手を交わした



意見交換の様子

○表敬訪問

同日の午後1時30分、ハンガリー体育大学の視察員は日本武道館に到着し、吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長が出迎えた。

吉川常任理事・事務局長は「令和4年度に開催されました日本とハンガリーを結ぶ武道文化交流事業ではご協力いただきありがとうございます。今日は日本古武道演武大会を開催しており、柔術・剣術などの各流派の特徴がよく見れますので、ぜひ、じっくりとご覧になってください」と述べて、同国の武道教育等の報告、意見交換へと移った。

■意見交換等

視察員の質問に対し、吉川常任理事・事務局長は次のように答えた。
Q. 本日開催されている日本古武道演武大会の意義は何ですか。



A. 国庫補助対象事業として開催しており、日本武道の源流をより多くの方に披露して「技と心」を磨き、我が国の伝統文化である古武道を保存・継承することを目的としております。

Q. 空手道を学校で教えたことの効果はありますか。

A. 上履きを揃えて礼をして体育館に入って行きます。相手に対する感謝の気持ちを養うことができます。



意見交換の途中、視察員から同大学や同国内の武道人気についての現状説明があった。同大学は第2次世界大戦後に柔道・空手道を教えるようになり、教員になるには柔道・空手道が必修科目となっている。また、空手道は、サッカー、バスケットボール、ハンドボールについて4番目に人気があり、親も強い関心を示している。集中力・忍耐力などの向上を期待しており、習い事としても人気となっている。

最後に視察員から吉川常任理事・事務局長に記念品が贈られた。

ハンガリー体育大学「武道センタープロジェクト」とは

○プロジェクト発足の背景・概要

ハンガリーでは1997年に柔道、2017年に空手道が中等学校（日本の中学3年～高校3年生に相当）における体育科の教材として認可を受け、現在、指導可能な学校では武道授業が実施されている。また学校教育では、小学校と中等学校の体育科で「毎日体育」と称して週5時間が義務付けられた。これには、成人病の予防対策を含め、幼少年期に運動に親しむ生活習慣を習得させる狙いがある。こうした情勢を受け、同国の武道に対する関心が高い。

ハンガリー体育大学では、柔道と空手道が教員養成コースの必修科目となり、22年9月には、同国の国政改変によりオリンピック委員会や各種スポーツ競技団体が、従来の人材開発省から国防省の管轄下に配置移動された。これを機に同大学の格闘技学科では、同国内の武道普及と学校教育での活用推進を目的として、「武道センタープロジェクト」と称する計画を国防省に提示した。

23年に国防省との協議を経て翌24年6月に申請が認可され、以下の活動等を進めている。

■視察員

エンドレ・ニーメット

【ハンガリー体育・スポーツ科学大学格闘技学科科長 / 柔道六段】

ラースロー・チャークバーリ

【ハンガリー体育・スポーツ科学大学格闘技学科准教授 / 空手道八段】

アドリアン・マジャール

【ハンガリー体育・スポーツ科学大学格闘技学科講師 / 空手道三段】

阿部哲史

【国際武道大学体育学部武道学科特任准教授（ハンガリー体育・スポーツ科学大学格闘技学科に出席中：武道文化論を担当、剣道七段）】

- ① 調査
 - ・ 日本の学校教育における武道の取り扱いについての視察
- ② 普及
 - ・ 学校体育で活用する指導書（柔道・空手道 作成と配布）
- ③ 研究
 - ・ 武道研究、特に「生涯スポーツ」「生涯武道」に関する情報収集

日本武道館の単行本



剣道の文化誌 明治大学教授 長尾 進 著

四六判・上製・480頁・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いつつながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。



剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著

四六判・上製・516頁・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。



合気道 その歴史と技法 合気道道主 植芝守央 著

四六判・上製・362頁・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。



空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手苺徹 著

四六判・上製・548頁・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。



マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著

B5判・248頁・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみたい。



死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著

四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自信を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ



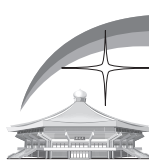
学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

四六判・上製・354頁・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



日本各地から約800名が参加

——少林寺拳法グループ2025年新春行事

1月12日、香川県多度津町にある金剛禪総本山少林寺にて少林寺拳法グループの新春行事が行われた。本行事には日本各地から約800名が参加し新年の始まりを祝った。



井上会長代行（左）による挨拶（新春修練会）

新春修練会では、全国から希望した拳士が、小学生以下の少年部と中学生以上の一般部にそれぞれ分かれて修練が行われた。



新春修練会・少年部

修練会。一年の始まりですから、大きな気合を出して元気に頑張りました。よう！」との呼びかけの後、基本修練を行い、大きな気合が道場内に響き渡った。その後2人1組に分かれ相対演練が行われ、参加者は元気がいっぱいになり新年初めの修練を楽しんでいた。

一般部では、井上弘会長代行、志村力指導員、荒井章士指導員による指導のもと、剛法、柔法の基本法形を中心に、技の原理原則の確認から応用変化に至るまで、限られた時間の中で幅広く修練が行われた。

修練会の締め括りにあたり、井上会長代行が、「少林寺拳法の目的は、社会に役立つ人づくりです。例えば当連盟の事業の一つに大会がありますが、大会は目標であってゴールではありません。この目標があるからこそ、大会に向けた演武修練では指導者の指導のもと、お互いを信じ合いながら修練を重ね、拳士同士の信頼関係、絆が深まり、周りへの感謝の気持ちで醸成されます。指導者として拳士の皆さんは、そのことを大切にして今年一年間、励んでください！」と力強く呼びかけた。

修練の後は、境内で新春のつどいが開催された。オープニングでは、地元の高津高校書道部による書道パフォーマンスをはじめ、「多度津京極少林寺拳法太鼓」の演奏や迫真の内に終了し、新たな幕開けとなった。

（少林寺拳法連盟 振興普及部）



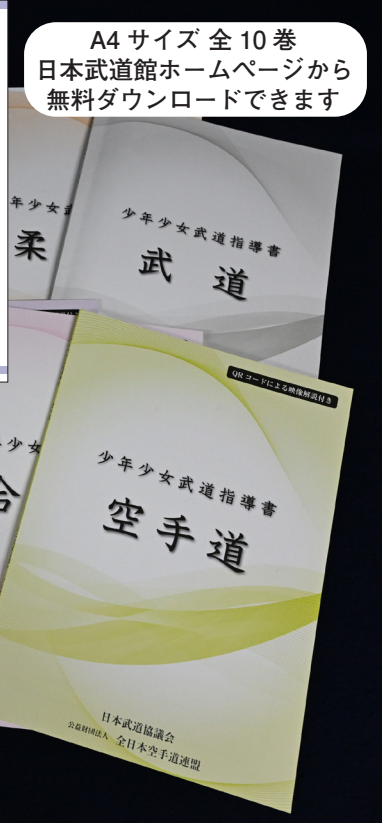
新春のつどい（書道パフォーマンス）



日本武道協議会設立45周年記念 『少年少女武道指導書』

『映像解説付き』が刊行

A4サイズ 全10巻
日本武道館ホームページから
無料ダウンロードできます



日本武道協議会設立45周年記念事業として、少年少女の武道を活性化するため、「安全で、楽しく、充実した武道指導」を目指し、基本指導を主とした9武道の指導内容と武道の概要を10分冊にした『少年少女武道指導書【映像解説付き】』を、2月に同協議会が刊行しました。

本書は、日本武道協議会加盟10団体（全日本柔道連盟・全日本剣道連盟・全日本弓道連盟・日本相撲連盟・全日本空手道連盟・合気会・少林寺拳法連盟・全日本なぎなた連盟・全日本剣道連盟・日本武道館）が各道の分冊本を編集しました。完成した本書は、全国の中学校や町道場などに無償配するとともに、少年少女の武道指導に携わっている皆様方に向けて日本武道館のホームページで無償公開します。

「勝ち負け」ではなく「少年少女の健全育成」に重点を置いた武道指導書であり、基本内容をわかりやすく解説してあるので、学校・町道場やスポーツ少年団での少年少女の武道指導に最適な内容となっています。ぜひ、本書・映像解説を指導現場でご利用ください。

ここがすごい！ 少年少女武道指導書の活用方法一

